

授業科目名・形態	助産管理論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	三崎 直子・中嶋 真優美	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

助産管理に必要な理論、および助産業務の法的範囲と責任について学び、病院や地域における質の高い助産ケアを提供できる助産活動について学ぶ。

【到達目標】

1. 助産管理に必要な基本的理論および助産師業務に関わる関係法規と責務、倫理を学び助産管理について考えることができる。
2. 助産実践および助産教育に関わる課題に応じた助産管理をすることができる。

【授業計画・内容】

第 1・2 回	助産管理の基本的理論、意義	(三崎)
第 3・4 回	助産業務と法的義務	(三崎)
第 5・6 回	助産業務と周産期管理	(三崎)
第 7・8 回	助産と経済	(三崎)
第 9・10 回	助産学教育と助産を取り巻く課題	(三崎)
第 11・12 回	課題演習	(三崎)
第 13 回	助産師のキャリアアップ	(三崎)
第 14・15 回	助産業務と助産所管理	(中嶋)

【授業実施方法】

基本的に講義です。
授業の中で、課題を挙げ発表してもらいます。

【授業準備】

助産に関する科目の復習をしておく。

【主な関連する科目】

「看護マネジメント論」「助産学概論」「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」

【教科書等】

助産学講座 9、10 医学書院
我が国の母子保健-令和3年- 母子保健事業団

【参考文献】

授業で紹介します。

【成績評価方法】

参加度 10%、課題発表 10%、筆記試験 80%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

助産師の実務経験あり。
助産師としての実務経験をふまえ、臨床事例を提示する等により、理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

適宜意見交換をしますので、積極的に参加をしてください。